

広域交通情報板の検討状況

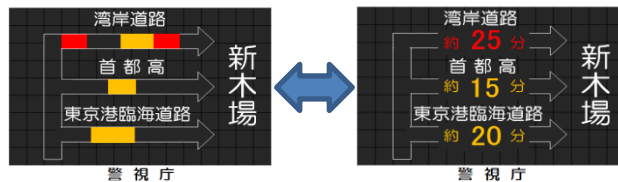
【設置箇所の検討例】

平成30年度に湾岸道路東行 東京港トンネルが開通予定であることから、湾岸道路、首都高湾岸線、東京港臨海道路の3路線について、広域交通情報板による交通量の分散を検討。



【表示内容、手法の検討例】

複数路線の目的地までの渋滞区間と所要時間を交互に切替表示する手法を検討。



H28年度 Webアンケート

- 広域交通情報板について、全体の83%が必要と回答
- 車種別では貨物車の86%が必要と回答。
- カーナビ使用率は、貨物車が33%と最も低い。

物流が盛んなエリアに広域交通情報板の導入を検討。

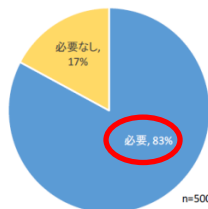


図 3-2-31. 広域交通情報板の必要性 (再掲)

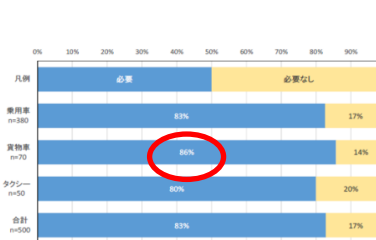


図 3-2-15. 広域情報板の必要性 (車種別)

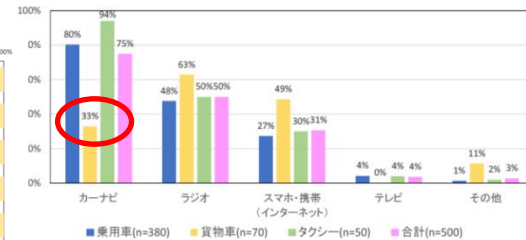


図 3-2-15. 交通情報板以外で情報を入手したい媒体 (車種別) (複数回答)

H29年度 試験実施

○実施日

平成30年3月19日

○内容

大田区京浜島に設置中のマルチパタン式交通情報板を使用して、広域交通情報の表示案を表示し、視認性等を確認する試験を実施。



【試験実施の状況】



【視察状況】